



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#)

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成27年6月定例会(6月10日～7月1日)

議会新役員、常任委員会等の委員構成が決定

●定例会の概要

- ・今定例会では、議長、副議長選挙及び議会選出の監査委員の選任について同意したほか、各常任委員会等の委員構成を変更しました。また20名の議員が一般質問を行いました。
- ・当初、会期を6月26日までとしましたが、一般質問に時間を要したため、会期を7月1日まで延長しました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案5件、補正予算議案2件、専決処分承認議案7件、その他議案4件を可決・承認し、監査委員及び教育委員会委員の選任議案に同意しました。
- ・議会提出議案として、「安全保障関連法案の撤回を求める意見書の提出について」ほか2件を可決、陳情1件を採択、1件を不採択としました。

●定例会の主な動き

- 本会議(6/10～19)…………… 議長、副議長等、新役員の決定、
一般質問、議案上程、採決 (1～4面)
- 各常任委員会等(6/22～26)…………… 議案・陳情審査等 (2～4面)
- 本会議(7/1)…………… 委員長報告、議案上程、採決(3・4面)

新役員が決定しました

6月10日の本会議冒頭において議長、副議長の選挙を行い、議長に前川綾子議員が、副議長に吉岡和江議員が選出されました。

また、議会選出の監査委員については、納所輝次議員が選任されました。

議長、副議長など議会の各役員については、本市議会の申し合わせにより任期を1年とし、6月定例会で改選することとしています。

なお、本市議会では、初めての女性議長となります。



納所監査委員 前川議長 吉岡副議長

一般質問項目一覧

次のテーマで一般質問を行いました。3面にその内容の一部を掲載しています。(名前左の数字は質問順序)

①中澤克之(無所属)

- 1 ゴミ処理政策等について
- 2 防災等について
- 3 子供たちの環境等について
- 4 行政事務執行等について
- 5 幕末・明治の鎌倉等について

②保坂令子(神奈川ネット鎌倉)

- 1 成年後見について
- 2 新焼却施設の用地選定について
- 3 災害時避難行動要支援者対応について
- 4 津波避難について
- 5 地方人口ビジョンの策定について

③池田実(鎌倉みらい)

- 1 まちづくりについて
- (1) 地域コミュニティについて
- (2) 深沢地域のまちづくりについて

④千一(無所属)

- 1 障がい者地域活動支援センターの工賃について
- 2 ニート、それに伴う虐待について
- 3 特養等について
- 4 障がい児・者の教育について
- 5 ペットの飼い方について

⑤渡邊昌一郎(新・草莽の会)

- 1 コンサルタント会社、調査会社について
- 2 観光行政について

⑥吉岡和江(日本共産党)

- 1 公園等公衆トイレの改善について
- 2 交通バリアフリーの推進について
- 3 住宅について
- 4 子育て支援について
保育園、子どもの家の待機児対策と環境整備について

⑦河村琢磨(みんな)

- 1 ドローン条例制定の必要性について
- 2 マイナンバー制度における情報セキュリティ対策と利活用の検討について
- 3 子どもたちの弱視対策強化と色覚特性検査の啓発について

⑧松中健治(無所属)

- 1 防災について
- 2 最高裁上告について
- 3 観光行政について
- 4 歴史文化交流センターについて

⑨渡辺隆(みんな)

- 1 文化財と自然環境の保全について
- 2 保育施設と介護保険施設の整備について

⑩西岡幸子(公明党)

- 1 認知症対策について
(オレンジプランの取り組みを中心に)
- 2 「たばこ」への取り組みについて

⑪岡田和則(新・草莽の会)

- 1 ふるさと寄附金事業について
- 2 減災対策について

⑫小野田康成(鎌夢会)

- 1 交通計画について
・駐輪場のバイク排気量制限等
- 2 災害発生時の対応について
・非常通信等

⑬三宅真里(神奈川ネット鎌倉)

- 1 ごみ処理問題について
- 2 空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴う市の取組について
- 3 子ども・子育て支援について

⑭上島寛弘(無所属)

- 1 市役所の人事労務管理体制の強化
- 2 鎌倉市職員労組への便宜供与是正
- 3 法務部門の視点から市組織の再構築
- 4 鎌倉市社会福祉協議会労働組合の不当要求
- 5 鎌倉の国宝等文化財保護の為に防犯・消防強化
- 6 市長の政治姿勢等

⑮赤松正博(日本共産党)

- 1 特異日における江ノ電の乗客対策について
- 2 原子力艦船の原発から市民の生命を守るために、広島・長崎・福島を繰り返さないために
- 3 開発指導に係る諸問題について

⑯竹田ゆかり(無所属)

- 1 「心身ともに元気長寿かまくら」をめざして
…高齢者保健福祉計画について
- 2 市民の命とくらしを守る減災・防災について
- 3 学校給食費の管理について

⑰高橋浩司(鎌夢会)

- 1 行財政改革について
- 2 教科書採択について

⑱山田直人(鎌倉みらい)

- 1 健康増進とまちづくり

⑲永田磨梨奈(鎌夢会)

- 1 子育て支援について
- 2 安全対策について

⑳大石和久(公明党)

- 1 空き家対策について
- 2 北鎌倉駅裏トンネルの安全対策について

総務常任委員会

〈所管事項〉 経営企画部、総務部、防災安全部、会計課、消防本部、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会に属さない事項



永田磨梨奈
委員長



保坂令子
副委員長



河村琢磨
委員



長嶋竜弘
委員



吉岡和江
委員



前川綾子
委員



中澤克之
委員

教育こどもみらい常任委員会

〈所管事項〉 教育委員会、こどもみらい部の所管に属する事項



久坂くにえ
委員長



高橋浩司
副委員長



千一
委員



納所輝次
委員



竹田ゆかり
委員



上畠寛弘
委員

常任委員会等の 新 しい 委員 構成

観光厚生常任委員会

〈所管事項〉 市民活動部、健康福祉部、環境部及び農業委員会の所管に属する事項



三宅真里
委員長



西岡幸子
副委員長



日向慎吾
委員



山田直人
委員



渡辺隆
委員



渡邊昌一郎
委員

建設常任委員会

〈所管事項〉 まちづくり景観部、都市調整部、都市整備部、拠点整備部の所管に属する事項



小野田康成
委員長



池田実
副委員長



中村聡一郎
委員



赤松正博
委員



松中健治
委員



岡田和則
委員



大石和久
委員

鎌倉市議会からのお知らせ

本会議・常任委員会等 中継映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。また、録画映像も見ることができます。

鎌倉市議会 中継 検索

問い合わせは…
鎌倉市議会事務局
議事調査担当

電話：0467(23)3000 内線2448
FAX：0467(23)5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

かまくら議会だより 音声版・点訳版

「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と、鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版（収録テープ・デージー）と点訳版を作成しています。ご利用を希望される方は、議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

請願・陳情

市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要となり、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…定例会初日の前日まで
締め切りまでに提出された場合は、その定例会で審査します。それ以降に提出された場合は、原則、次の定例会での審査となります。

議会運営委員会

山田 直人委員長 赤松 正博副委員長
永田磨梨奈委員 渡辺 隆委員 渡邊昌一郎委員
三宅 真里委員 納所 輝次委員 高橋 浩司委員
久坂くにえ委員 岡田 和則委員

〈所管事項〉
議会の運営に関すること
議会の会議規則・委員会に関する条例などに関すること
議長の諮問に関すること

議会広報委員会

長嶋 竜弘委員長 日向 慎吾副委員長
保坂 令子委員 西岡 幸子委員 池田 実委員
中村聡一郎委員 吉岡 和江委員

〈所管事項〉
議会広報に関すること
(議会報告会、議会だより、議会ホームページに関する
ことなど)

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずぬるもので、**6月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。**ここでは議会広報委員会、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、8月下旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

一般質問

空き家対策について

本市における空き家対策の取り組みについて、次のような質問が行われました。

質問：本年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」(以下、「法」)が全面施行されたことに関連し、今年度、市が実施を予定している空き家の実態調査の内容及び手法について聞きたい。

都市整備部長：この調査は、市内のすべての戸建て住宅の空き家の実態を調査し、それをデータベース化するもので、内容としては、まず、対象建築物を特定し、空き家の判定や老朽度、危険度等の評価を行うほか、所有者を特定し、建物の維

持管理の状況や今後の活用に関するアンケートを実施するものである。調査で得た情報は、法第11条に規定される空き家等のデータベースの作成に利用するとともに、GIS(地理情報システム)のデータとして整備をしていく。

質問：市では、現段階で、市内の空き家の数、総住宅数に占める空き家の割合をどの程度と推測しているのか。

同部長：平成25年度の総務省の住宅統計調査によると、本市の住宅総数は約8万2千戸で全体の空き家数は約9600戸、空き家率は約11.8%となっている。また、同調査によると、

市内の戸建て住宅は約4万2千戸であり、このうち、別荘等に利用している二次的住宅や賃貸用・売却用の住宅を除くと、空き家の数は2400戸と推計している。

質問：都市マスタープランの住宅・住環境整備の方針には、賃貸住宅やルームシェアなど、空き家住宅活用の可能性について検討することが盛り込まれている。

同部長：調査結果については、法第6条に基づく空き家対策等計画の資料とするほか、現在検討中の次期住宅マスタープランの基礎資料としていきたいと考えて

いる。

質問：空き家の適正管理に関して、市では、小林副市長を委員長に、関係各部長を委員に据えた空き家等対策検討委員会を立ち上げ、検討を進めていると聞かすが、取り組み状況はどのようになっているか。

環境部長：検討委員会では、空き家等の適正管理に係る課題解決に向け検討を行っている。具体的には、その下部組織となるワーキンググループで、空き家がもたらす問題についての調査・研究を行っている。現在、法の施行に当たり、国が示している基本的な指針等に基づき、空き家等の対策計画の策定に向けた検討を行っている。

部署にまたがる案件であるが、空き家に関する苦情等があった場合、市民が市に相談をする際の統括的な窓口はあるのか。

同部長：一義的には、空き家等対策検討委員会の事務局である環境保全課が問い合わせ窓口となる。そこから、建築、防災、衛生、景観等、相談内容に沿って、各課に振り分ける形となる。

質問：空き家等対策計画に基づく条例の制定をお願いしたいと考えるが市の考え方を聞かせてほしい。

全員協議会

次のとおり議会全員協議会を開催し、市長から以下の報告を受けました。

◎ごみ焼却施設建設候補地の選定について(4月17日)
エネルギーの有効活用等の観点から、山崎下水道終末処理場未活用地を建設候補地とする結論に至った。

◎名越クリーンセンターの管理運営による協定書の締結について(4月17日)
名越クリーンセンターの焼却量について、従来の年間3万トンを超え3万3千トン以下とする新協定を地元自治会・町内会と締結した。

御成小学校旧講堂周辺の大気及び土壌中のアスベスト濃度等測定を行ったところ、現時点でアスベストの飛散は見られないと判断できる結果となった。スレート屋根のアスベスト調査は行っていないが、改修時期から見てアスベストを含有すると判断し、全て撤去する。撤去に当たっては、アスベストを飛散させることのないよう、法令等に正しい適切に処理をする。今後は、旧講堂の歴史的・文化的価値、教室不足などの教育環境の現状を踏まえ、保存した上で学校施設として活用していく。保存の方法は、児童が利用する施設として求められる機能や安全性を確保した上で、有識者の意見を聞き、経済性も考慮し最良の方法を検討していきたい。

健康増進と高齢者福祉について

本市における健康増進と高齢者福祉について、次のような質問が行われました。

健康増進について
質問：平成27年度に鎌倉市健康増進計画を策定するが、その経緯を伺いたい。

健康福祉部長：本市は、平成18年度に鎌倉市健康福祉プランを策定し、市民の参画と協働による地域福祉と健康づくりを目指してきたが、このプランが今年度末で満了する。このため、健康増進の部分については、健康増進法に基づき、市民の健康寿命の延伸、生涯にわたる健康づくりの指針、行動計画となる健康増進計画を新たに策定することとした。

質問：健康増進計画にはどのようなことを盛り込むのか。

同部長：計画の策定に当たっては、厚生労働省の第2次健康日本21等の基本的な方向である健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底などの目標を踏襲し、さらに本市の第3次総合計画基本構想にある「健康やかで心豊かに暮らせるまち」の理念を柱に、具体性を持たせた全市民的な取り組みを盛り込んでいきたい。

質問：健康増進計画の策定において、ゼロ次予防は大変重要な論点になるべきと考えるが、いかがか。

同部長：ゼロ次予防とは、健康という視点を基盤に、社会全体の仕組みや機能を整備・改善していくものと捉えており、市民全体の健康度を底上げしていく、いわゆるスマートウェルネスの考えにつながっていくものと考えている。

質問：健康増進の施策推進という観点から、市役所では、一事業所としてどのようなことを考えているのか。

総務部長：職員が健康な生活習慣に関心を持ち、理解を深めていくことが重要であり、自らが市民の手本となるよう適切な生活習慣を身につけていくことが極めて大切であると考えている。

質問：本市の認知症患者数と、そのうち介護認定を受けていない方の人数は。

健康福祉部長：介護認定の調査項目で、認知症高齢者の

陳情の議決結果

今定例会では、10件の陳情が提出され、1件を採択、1件を不採択、2件を継続審査とし、5件を全議員に配付しました。(1件は取り下げ)

【採択した陳情】
◇鎌倉市一般廃棄物最終処分場(6号地区)の20年間開放に関する陳情
陳情の要旨
当該地における「一般廃棄物処理場に対する維持管理」「諸経費の維持管理」体制の検証、早急な精査を求めるとの。

委員会及び本会議の審議結果
委員会、本会議ともに多数の賛成により採択しました。
不採択とした陳情
◇御成小旧講堂の保存を求め

「議会報告会・意見聴取会を開催」

5月16日(土)に市役所議会全員協議会室、17日(日)に大船行政センターで、議会報告会・意見聴取会を開催しました。議会基本条例施行後、初めての開催でしたが、鎌倉では17人、大船では20人の方に参加していただきました。



「議員・事務局職員研修会を開催」

5月26日(火)午後2時から、市役所議会全員協議会室で、次の内容で議員・事務局職員研修会を開催しました。
講師 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官 村上敬亮氏
演題 「まち・ひと・しごと創生が目指すもの—自治体の未来は—」
議員、議会事務局、市の職員のほか、市民等にも参加の呼びかけを行い、ご参加いただきました。次回は、8月19日(水)午後2時に開催予定です。(詳細は、議会事務局にお問い合わせください。)

議決された主な議案等

※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 ー：反対 退：退席

Table with columns for Party Name, Member Name, Main Cases, and Voting Results for various council members.

※平成27年6月10日付で「鎌倉みらい」の代表者は池田実議員に、「日本共産党鎌倉市議会議員団」の代表者は赤松正博議員に変更。

可決した決議

議会は、7月1日の本会議において次の決議を行いました。
鎌倉市立御成小学校の旧講堂のアスベストの速やかな完全除去を求める決議

可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。
北朝鮮による日本人拉致問題の早期の全面解決と再発防止を求める意見書

補正予算

一般会計補正予算(第2号)、下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、それぞれ総議員の賛成で原案を可決しました。

監査請求の動議を可決

鎌倉市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例に基づいて、職務専念義務の免除に係る事務について単純労働職で組織する鎌倉市職員労働組合現業職員評議会は、労働組合法の適用を受ける労働組合であり、当該労働組合との労使交渉は地方公務員法に基づく交渉ではなく、本市が、鎌倉市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例に基づいて職務専念義務の免除を行い、職員に給与を支払っていたことについては、今定例会の一般質問において、市長は、違法の可能性があると答弁しました。

全国市議会議長会から議員在職10年表彰を受章

6月17日に開催された、全国市議会議長会第91回定期総会において、山田直人議員、前川綾子議員、久坂くにえ議員、渡辺隆議員が、議員在職10年以上一般表彰を受章されました。

編集後記

鎌倉市議会は今定例会に初の女性議長が誕生し、併せて副議長と4常任委員会のうち3常任委員長が女性ということになりました。このことは恐らく全国でも例がないのではないかと思います。知っていただければ幸いです。今後は動画やSNSなども活用しながら、「開かれた議会」を目指して分かりやすい広報活動を行ってまいります。(長嶋 竜弘)

教育委員会委員

次の方の選任についての議案に同意しました。
下平 久美子氏(西鎌倉在住)